

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公表番号】特表2007-536920(P2007-536920A)

【公表日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2007-512116(P2007-512116)

【国際特許分類】

C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 1 2 M	1/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	37/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/68	Z N A A
C 1 2 M	1/00	A
C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 N	15/00	F
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	35/00	
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	37/00	1 0 2
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月13日(2008.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳動物における細胞増殖性疾患をインピトロで診断するための方法であって、

- a )該哺乳動物から生物学的試料を得る工程；
- b )表3から選択される少なくとも2個から40個の遺伝子マーカーの、該試料における発現および/またはリン酸化プロフィールを決定する工程；
- c )患者の遺伝子発現プロフィールと表3に示される平均非応答性発現プロフィールとを比較する工程；
- d )(b)の比較から得られた2個の遺伝子発現プロフィール間の類似性を決定する工程；
- e )(c)で決定された類似度を用いて、GBM病状を有する患者が薬剤に応答する可能性を決定する工程

を少なくとも含む方法。

【請求項 2】

表 3 から選択される少なくとも 3 個から 5 個の遺伝子マーカーの発現および / またはリン酸化プロフィールを、工程 b )で決定する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

少なくとも 1 個の P D G F 受容体アンタゴニストを用いる薬物療法に応答した、細胞増殖性疾患を有する哺乳動物の行動を予測するための方法であって、

- a )該哺乳動物から生物学的試料を得る工程；
- b )表 3 から選択される少なくとも 2 個から 4 0 個の遺伝子マーカーの、該試料における発現および / またはリン酸化プロフィールを決定する工程；
- c )工程 b )で得られた発現および / またはリン酸化プロフィールと、応答性および非応答性発現および / またはリン酸化プロフィールについて表 3 から計算された平均 ± 標準偏差とを比較する工程；そして
- d )該哺乳動物の行動を下記の通りに予測する工程：
  - b )で得られた発現および / またはリン酸化プロフィールが、応答性発現および / またはリン酸化プロフィールについて計算される平均 ± 標準偏差内であるならば、該哺乳動物を該処置に応答性であると予測する
  - b )で得られた発現および / またはリン酸化プロフィールが、非応答性発現および / またはリン酸化プロフィールについて計算される平均 ± 標準偏差内であるならば、該哺乳動物を該処置に非応答であると予測する；および
  - b )で得られた発現および / またはリン酸化プロフィールが、応答性および非応答性発現および / またはリン酸化プロフィールについて計算される平均 ± 標準偏差外であるならば、該処置に応答した該哺乳動物の行動は不明である

を少なくとも含む方法。

【請求項 4】

表 3 から選択される少なくとも 3 個から 5 個の遺伝子マーカーの発現および / またはリン酸化プロフィールを、工程 b )で決定する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

少なくとも 1 個の P D G F 受容体アンタゴニストを用いる薬物療法に応答性であると予測される、細胞増殖性疾患を有する哺乳動物を選択する方法であって、

- a )請求項 3 または 4 に記載の方法を用いて該哺乳動物の行動を予測する工程；および
- b )該哺乳動物が応答性であると予測されるならば、該哺乳動物を選択する工程

を少なくとも含む方法。

【請求項 6】

該哺乳動物がヒトである、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

表 3 から選択される少なくとも 2 個から 4 0 個の遺伝子マーカーの c D N A および / または抗体を含む、哺乳動物における遺伝子マーカーの発現および / またはリン酸化プロフィールをインビトロで分析するためのキット。

【請求項 8】

表 3 から選択される少なくとも 3 個から 5 個の遺伝子マーカーの c D N A および / または抗体を含む、請求項 7 に記載のキット。

【請求項 9】

該哺乳動物がヒトである、請求項 7 または 8 に記載のキット。

【請求項 10】

- 哺乳動物における細胞増殖性疾患のインビトロ診断；および / または
- 細胞増殖性疾患を有する哺乳動物の少なくとも 1 個の P D G F 受容体アンタゴニストを用いる薬物療法に応答した行動の予測；および / または
- 少なくとも 1 個の P D G F 受容体アンタゴニストを用いる薬物療法に応答性であると予測される、細胞増殖性疾患を有する哺乳動物の選択

のための遺伝子マーカーとしての、表3から選択される少なくとも1個の遺伝子および／または少なくとも1個の遺伝子産物の使用。

【請求項11】

該遺伝子に対応するcDNAおよび／または該遺伝子産物に特異的な抗体(複数可)を用いる、請求項10に記載の使用。

【請求項12】

- 哺乳動物の細胞増殖性疾患のインビトロ診断；および／または
- 細胞増殖性疾患を有する哺乳動物の少なくとも1個のPDGF受容体アンタゴニストを用いる薬物療法に応答した行動の予測；および／または
- 少なくとも1個のPDGF受容体アンタゴニストを用いる薬物療法に応答性であると予測される、細胞増殖性疾患を有する哺乳動物の選択

のための、請求項7から9のいずれか一項に記載キットの使用。

【請求項13】

- 哺乳動物における細胞増殖疾患のインビトロ診断；および／または
- 細胞増殖性疾患を有する哺乳動物の少なくとも1個のPDGF受容体アンタゴニストを用いる薬物療法に応答した行動の予測；および／または
- 少なくとも1個のPDGF受容体アンタゴニストを用いる薬物療法に応答性であると予測される、細胞増殖性疾患を有する哺乳動物の選択

のための、請求項10から12のいずれか一項に記載のマイクロアレイまたはバイオチップの使用。

【請求項14】

請求項5に記載の方法を用いて選択される、細胞増殖性疾患を有する応答性哺乳動物を処置するための薬剤の製造を目的とした、少なくとも1個のPDGF受容体アンタゴニストの使用。

【請求項15】

該哺乳動物がヒトである、請求項10から14のいずれか一項に記載の使用。